



特集 4

文化の醸成

「日本有数の図書館が紡ぐ文化」

「日本の図書館統計と名簿2013」で、

蔵書冊数、貸出数、予算額、前々年度資料費決算額の
4部門で、堂々の1位を獲得した市立図書館。

年間貸出数38万冊を超える日本の図書館で、

豊かな心が育まれています。

※人口3万人未満の全国73市の市立図書館を対象としたランキング

市民生活に溶け込んでいる、 3つの図書館

「図書館は、本との出会いはもちろん、情報を発信したり、人と人との交流できる場所。私たちもそうありたいと考え、さまざまな取り組みをしてい

ます」と話す玉穂生涯学習館出井寛館長。館内には、子育て関連の資料を集めた子育て支援コーナーやカウンターなどちよとした場所にもおすすめの本が紹介されていたりと、利用者の興味を惹く工夫があちらこちらで光っています。また、ボランティア団体との連携のもと、子育て中の親子や小学生を対象にした「おはなし会」を日常的に行っているほか、成人を対象にした文学教養講座やミニ健康講座の開催、夏休みには親子で参加できる教室を行ったりと、幅広い年代の市民が図書館に足を運ぶきっかけづくりに力を入れています。



豊富図書館・児童書コーナー



田富図書館・おすすめ書籍コーナー



図書館からの子育ての応援

母親学級

妊婦さんへ、母親学級で絵本の読み聞かせの大切さの説明と、絵本や子育てに参考になる本の紹介をします。

ブックスタート

生後7ヶ月健診の赤ちゃんへ、すこやかに成長することを願って、絵本を手渡します。

新入生ブックプレゼント

市内の小学1年生へ、読書に親しみきっかけとなるような絵本を贈ります。

中一ブック便

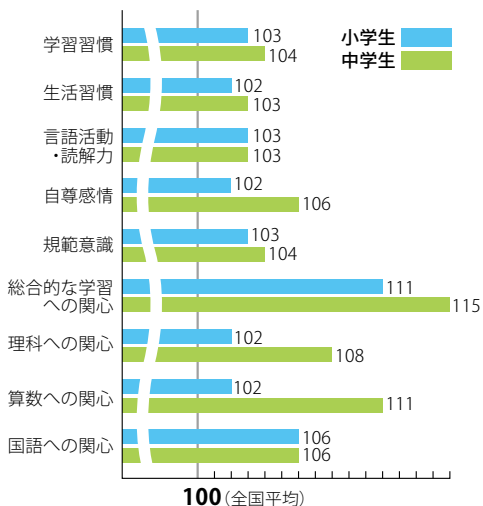
市内の中学1年生へ、学級文庫として市立図書館の本を貸出し、身近に本がある環境づくりの応援をします。

卒業生ブックプレゼント

市内の中学3年生へ、義務教育の終了を祝って、人生をより豊かなものにするをお願い、心の糧となる本を贈ります。

学習意欲や生活習慣に関する調査

実施日：平成27年4月 対象：小学6年生・中学3年生



Engendering culture ～ Cultural variations offered at our library that is eminent in Japan ～

Our municipal library received as the top ranked city library in the four categories of “Japanese Library Statistics and Name List in 2013,” such as in book collection number, book rental number, amount of budget, and amount of paid cost for references in the two fiscal years before. The Japanese number one library, where more than 380,000 books are rented, is the vital source for lively residents.



クリスマス会や読み聞かせなどのイベントも行っている

教育機関と連携し、 「読書好き」な子へ

生後7カ月の赤ちゃんに絵本をプレゼントする「ブックスタート」にはじまり、小学校入学時の「新入生ブックプレゼント」、中学卒業時の「卒業生ブックプ



「読書好き」な子を育てています。レゼントと、子ども達の成長に寄り添い、本との出会いを提供している中央市。図書館では、母親学級や乳幼児健診で読み聞かせの大切さや本の選び方をお母さんに伝えたり、児童館、中学校へも年齢に即した本を選書して配本したりと、フォローアップ体制を整えるとともに、授業で必要な蔵書を充実させるなど小中学校とも連携しながら、

田富図書館開館20周年記念事業、中井貴恵さんによる読み聞かせ

Interview



玉穂生涯学習館司書
田中 佐智子さん

中央市には、3つの図書館と学校をつなぐ仕組みがあり、早ければその日の午後に別の図書館から取り寄せることができますし、学校にも授業で必要な資料や辞書、書籍などを揃えて届けています。また、県内はもちろん日本中の図書館ともネットワークでつながっていますか

子育て中のお母さんがベビーカーを押して、散歩中のおいちゃんとお孫さんが手をつないで、そんなふうには、誰もが気軽に立ち寄れる場所でありたいですね。

ら、言うなればここは世界への扉。本が、知らない世界を教えてくれ、人生を豊かにしてくれるように、図書館もまた、人と本、人と人とを結び、豊かな時間を過ごせる場でありたいと思っています。中央市の図書館はどこもアットホーム。赤ちゃんも、小さなお子さんもお子さんでも大歓迎ですから、気兼ねなく来館していただきたいと思います。



農薬をほとんど使わない
ロックウール栽培のトマトが人気！

四季新鮮収穫広場 「た・から」農産物直売所

富士山を背景に、美しい田園風景が広がる田舎地区。その真ん中に位置する「た・から」には、生産者が畑から直接運んでくる、採りたて、もぎたて、掘りたての野菜や果物が、彩り豊かに並んでいます。

ブログ「農産物直売所 た・から日記」では生産者である組合員をご紹介します。作り手の顔がわかる安心・安全な野菜としても人気を呼んでいます。

毎月第4水曜日を「た・からの日」、開業日である5月23日を「創業祭」として楽しいイベントを開催しています。また、平成27年12月には来場者が150万人を突破しました。



上:「た・から」外観 下:新鮮な野菜が並ぶ直売所

直売所甲子園2009
初代グランドチャンピオン

道の駅とよとみ

朝採り野菜をはじめ、中央市が誇る特産品がずらりと並ぶ農産物直売所。新たな特産品の開発や、農産物の加工・販売を生産者自ら手掛ける「6次産業化」にも取り組んでおり、珍しい野菜や加工品にも出会えます。豊富地区で飼育された高品質な豚肉を、ハムやソーセージに加工して販売する「与一味工房」、新鮮な地元野菜やブランド豚甲州富士桜ポークをふんだんに使ったメニューや「青春のトマト焼そば」が味わえるレストランなど、併設の施設も充実。収穫体験も楽しめる「スイートコーン収穫祭」をはじめ、年間を通して開催されるさまざまなイベントにも、多くの観光客が訪れています。



上:道の駅とよとみ外観 下:スイートコーン収穫祭



農産物直売所

日本有数の繭の生産地だった
歴史を今に伝える

シルクふれんどりい

日帰り入浴もできる全国有数の高アルカリ性温泉と、陶芸、つむぎ織り、繭工芸が楽しめる体験工房、そして、甲州富士桜ポークをはじめ、新鮮な地元食材が存分に味わえるレストランを携えた宿泊施設。近くには、甲斐源氏の武将浅利与一の名を冠した「与一弓道場」があり、例年10月には弓道大会が開催されます。



一方隣にあるのは、民具や農具を中心に7500点以上の収蔵資料を持つ「豊富郷土資料館」。この地域の昔の暮らしや、養蚕の歴史を今に伝える貴重な品々が展示されているほか、春から秋にかけては蚕も飼っています。

「養蚕の歴史」

かつて豊富地区（旧豊富村）は、見渡す限り桑畑が広がり住民の大部分が養蚕業に従事する、全国屈指の養蚕地帯でした。最盛期の1970年頃には、約700軒の養蚕農家が生糸の原料となる繭を生産・出荷していたといえます。80年代に入り、低価格の輸入品の普及や農家の高齢化によって衰退してしまいましたが、豊富郷土資料館で、蚕とともに生きた農家の歴史に触れることができます。



豊富郷土資料館



シルクふれんどりいの高アルカリ性硫酸温泉